

遠別町における 地域おこし協力隊の活動状況

平成23年11月

遠別町役場
総務課 企画振興係

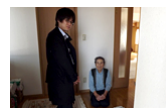
地域おこし協力隊とは

- 「都会を離れて地方で生活したい」
- 「地域社会に貢献したい」
- 「人とのつながりを大切に生きていきたい」
- 「自然と共存したい」
- 「自分の手で作物を育ててみたい」

今、都市に住む人たちが様々な理由で豊かな自然環境や歴史、文化などに恵まれた「地方」に注目しています。

「地域おこし協力隊」は、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、上記のような意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

遠別町では、平成23年からこの制度を取り入れ、4名の方を地域おこし協力隊として委嘱し、一定期間以上、町内活動などへの支援や高齢者などの生活支援、イベント企画や観光情報の発信など、各種の地域協力活動に従事しています。



遠別町における取り組み

【地域の活性化にむけた活動】

- 町産業に関するイベントの運営補助
 - ・ 山菜祭り
 - ・ ひらめオーナー
 - ・ 商工夏祭り
 - ・ 遠農羊祭り
 - ほか
- 地域行事や町内会活動の支援
 - ・ 観桜会
 - ・ 敬老会
 - ・ 例大祭
 - ・ 花いっぱい運動
 - ほか

【高齢者などの支援】

- 生活支援
 - ・ 自宅周辺の草刈りや清掃活動
 - ・ パソコンなど電気機器の操作説明
 - ほか
- 御用聞き（町内モデル地区で実施）
 - ・ 高齢者の要望聞き取り
 - ・ 災害時要援護者の個別計画などの調整

地域おこし協力隊
地域マネージャー
※各町区・地域から選出

【地域情報の発信・共有】

- リサイクル品の仲介活動
「**リサイクル掲示板**」
- IP告知端末の利用（町民向け）
 - ・ 「えんべつひかりタウン」（常設）
 - ・ 「まちのできごと」（月2回）
- 町内外へ向けた情報発信
 - ・ 協力隊ブログによる町の紹介
 - ・ 道の駅「富士見」のホームページ開設協力

【隊員の個性を活かした活動】

- **小中学校へのICT支援**
 - ・ 電子黒板の活用やビジネスソフトの利用
- **地域の高齢者等の見守り体制構築**
 - ・ 民生委員等と連携した情報共有と訪問
 - ・ **救急医療情報キットの設置**
- 地域の自然環境保全に向けた取り組み
 - ・ 「金浦原生花園」の植生保全の取り組み
 - ・ 町民農園を利用した在来植物の栽培
 - ・ 町内自然観察会の企画実施

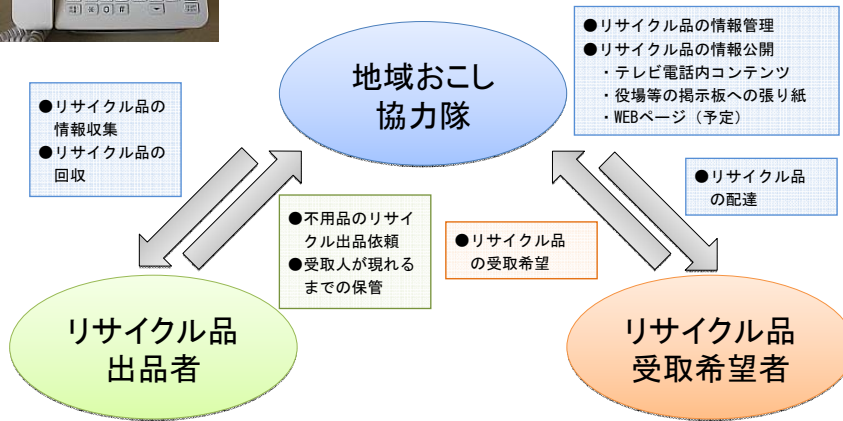
主な活動紹介

- ① リサイクル掲示板
- ② えんべつひかりタウン
- ③ 小中学校のICT支援
- ④ 救急医療情報キットの普及
- ⑤ 高齢者等が安心して暮らせる町づくり

リサイクル掲示板



「リサイクル掲示板」とは、家庭で不必要となったものを、必要としている人に無料で譲渡する仕組みです。
遠別町で導入されているテレビ電話を利用し、どなたもが気軽に出品されているものをチェックできる仕組み作りが行われています。



えんべつひかりタウン



「えんべつひかりタウン」とは、IP告知端末を利用して生活に便利な情報などの発信を目的としたもので、現在7つのコンテンツがあります。

【ひかりタウンの利用状況】

8月23日の開設以来、約800件（11/7時点）、一日あたり最大38件の町民の方にご利用いただいています。

【今後の予定】

広く町民の方から、町内で撮影した写真を募集し、告知端末での配信を企画しています。将来的には写真コンテストを開催するなど、コンテンツの充実を図っています。

【ひかりタウンのコンテンツ】

- ① 『防災豆知識』
地震や風水害が発生した場合の心得や非常時持出品の準備等の防災情報を掲載しています。
- ② 『写真館』
遠別町内のイベント等を写真で紹介する「えんべつのできごと」を配信しており、そのバックナンバーを掲載しています。
- ③ 『学校』
小学生向けの足し算や掛け算のflash素材を掲載しています。
- ④ 『空き家バンク』
町内の空き物件情報を掲載しています。「遠別町内に不動産屋がないのであったら便利」と、町民からの声を受けて制作。町外向けに役場ホームページにも掲載しています。
- ⑤ 『仕事バンク』
町内の求人情報を掲載しています。情報収集にあたっては、ハローワークや事業主への聞き取りを実施。町外向けに役場ホームページにも掲載しています。
- ⑥ 『リサイクル掲示板』
- ⑦ 『ゲームセンター』
子ども向けゲームコンテンツ

高齢者等が安心して暮らせる町づくり



【草刈り券】

- 【目的】 高齢者や障害者世帯への支援。
 【内容】 毎月、広報の折り込みにて発行の「協力たいむず」（左図）7月号にて町内の全世帯に配布。
 【活動結果と反省事項】 約1,300世帯に配布し、期間中の要望は5件。
 （期間中に行った一部地域で行ったアンケートの認知度は37.5%）
 募集を始めた時期が遅く、また必要とする方々への告知が不十分でした。

【見守り支援】

- 【目的】 高齢者世帯や障害者世帯の見守り。
 【内容】 今年度から遠別町の全世帯に設置となった双方向システムを使って、安否確認をとる内容を特定世帯に配信し、管理端末で24時間の視聴状況を確認し安否確認をする仕組みです。
 対象者が画面に触れると視聴状況に反映され、確認がとれます。何らかの理由で対象者が24時間の間、画面に触れなければ町内無料のテレビ電話にて電話をして確認。電話にて確認ができなければ、訪問するという流れの見守りです。
 【検討事項】 現状の見守りは協力隊のみで行う内容なのですが、今後は町内会や集落が主体になる見守り内容になればと、各地域の方々と話し合いをしながら進めています。



今後の活動について(協力隊より)

【これまでの活動評価】

最初のころは、何をしてもよくわからないことが多かったですが、少しずつ時間がたつにつれて、住民のみなさんとも顔見知りになり、協力隊の活動も理解されてきているものと感じています。
 遠別町の方では、「協力隊の主体的な活動」という視点で活動は任されており、その都度アドバイスや調整をして、ほとんどが協力隊の判断で自由に活動している現状です。
 活動内容の全てが理解されているわけではありませんが、町の担当者からは一定の評価をいただいております。今後も「地域おこし協力隊」および「地域の一員として」、さまざまな角度から地域を模索した活動をしていきたいと思っております。

【これからの活動予定】

- 今冬以降、これまでの取り組みを継続しつつ、以下の活動を進めていく予定です。
- 主に高齢者等を対象とした除排雪作業
 - 地域ごとの「見守り」普及と体制確立
 - 町の特産物を利用した商品開発
 - 町内企業のITコンテンツ普及推進
 - （地域移住計画のサポート）
 - 北海道フラワーソン2012へ参加

など